

感染性胃腸炎が流行しています

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルス等の病原体による感染症です。ウイルス感染による胃腸炎が多く、毎年秋から冬にかけて流行します。特に保育所や高齢者施設等での集団発生の報告件数が増えています。特別な治療方法はなく、感染予防には石鹸と流水での手洗いが有効です。特に乳幼児や高齢者では下痢等により脱水症状を生じる事があるので、早めに医療機関を受診する事が大切です。また患者の便や吐物进行处理する時には換気をし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は十分に手を洗いましょう。

【全数把握対象疾患】

類型	報告件数	備考
1 類感染症	0 件	
2 類感染症	結核 3 件	60 代 男性 1 名、70 代 男性 1 名、80 代 男性 1 名
3 類感染症	0 件	
4 類感染症	0 件	
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症 1 件	70 代 女性 1 名
	梅毒 1 件	20 代 男性 1 名
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 件	50 代 男性 1 名

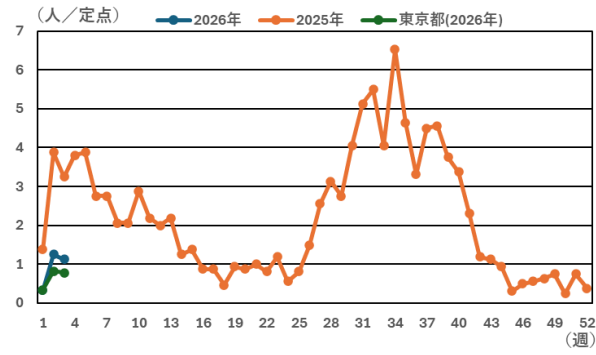
【定点把握対象疾患】

感染症	板橋区	東京都
感染性胃腸炎	定点当たり報告数 11.20 (前週 12.10 前年同週 5.60)	定点当たり報告数 9.80 (前週 7.98 前年同週 5.98)
インフルエンザ	定点当たり報告数 5.56 (前週 6.25 前年同週 8.19)	定点当たり報告数 7.25 (前週 6.86 前年同週 10.28)
新型コロナウイルス感染症	定点当たり報告数 1.13 (前週 1.25 前年同週 3.25)	定点当たり報告数 0.78 (前週 0.82 前年同週 2.89)
急性呼吸器感染症 (ARI)	定点当たり報告数 34.00 (前週 45.19)	定点当たり報告数 42.32 (前週 47.01)

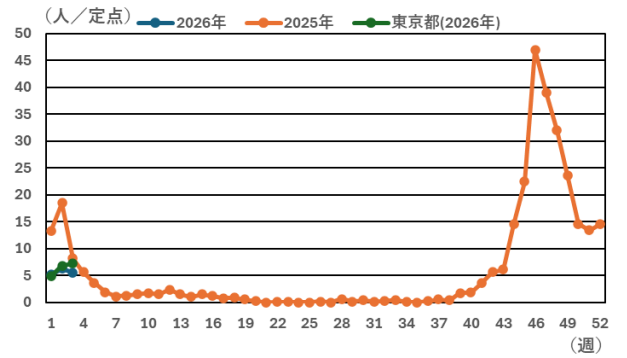
【定点把握対象疾患 推移グラフ】

週報告の定点把握対象の感染症について、定点医療機関当たりの患者報告数推移のグラフを掲載しています。

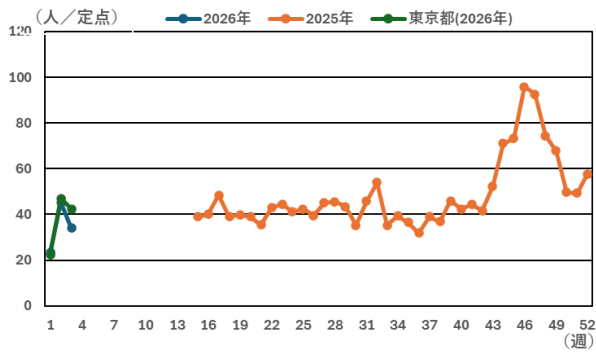
新型コロナウイルス感染症



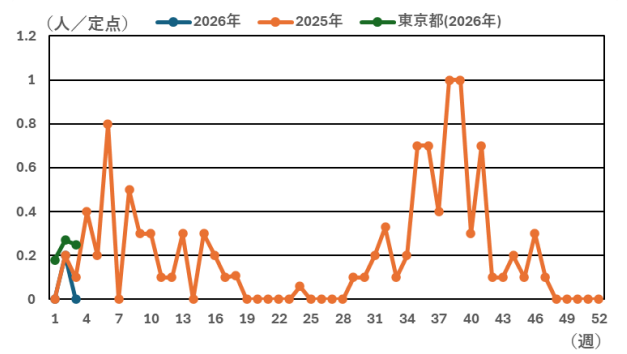
インフルエンザ



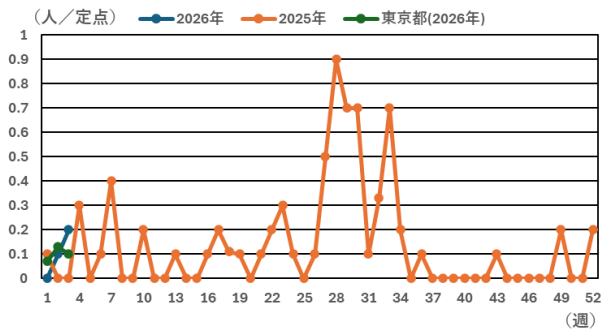
急性呼吸器感染症



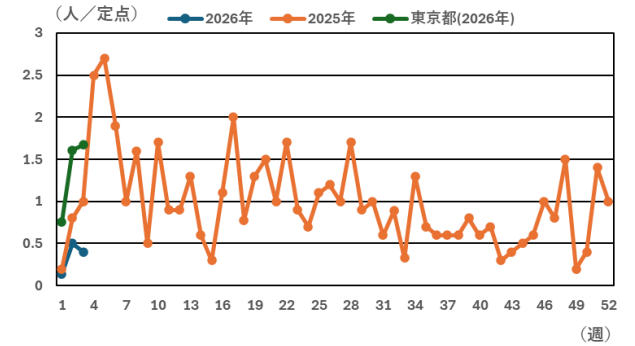
RS ウイルス感染症



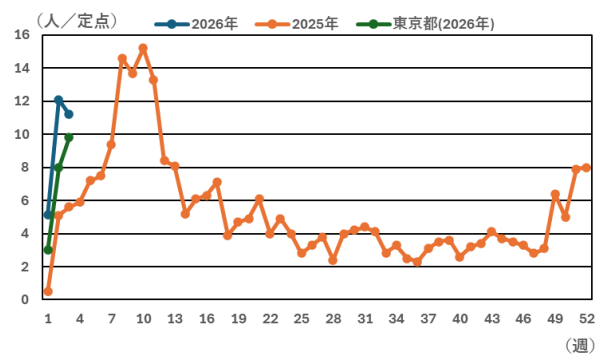
咽頭結膜熱



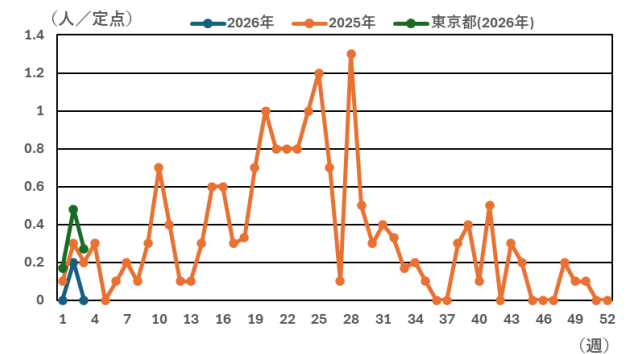
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



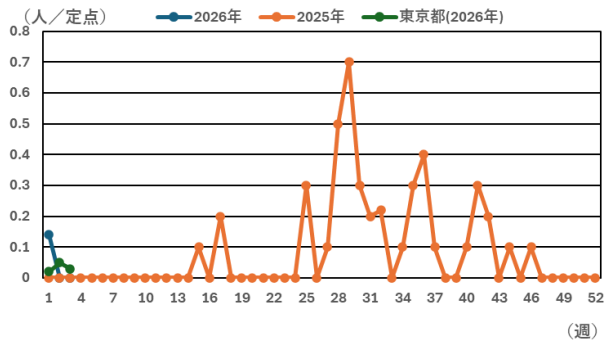
感染性胃腸炎



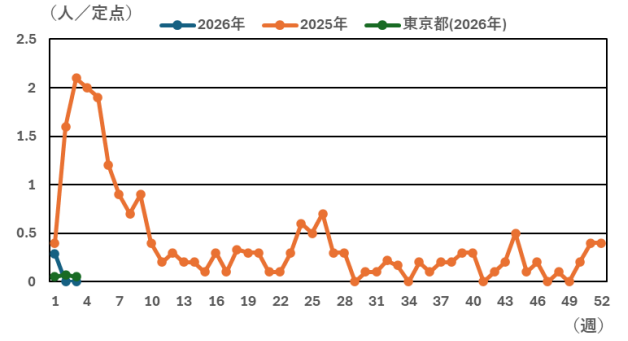
水痘



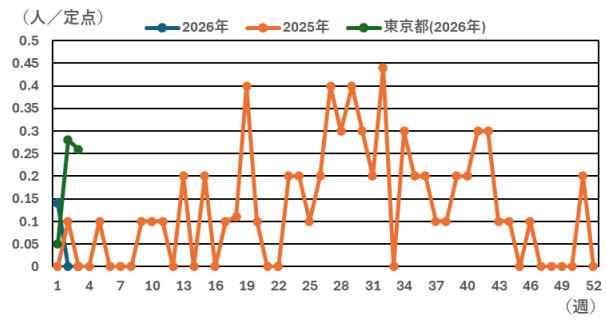
手足口病



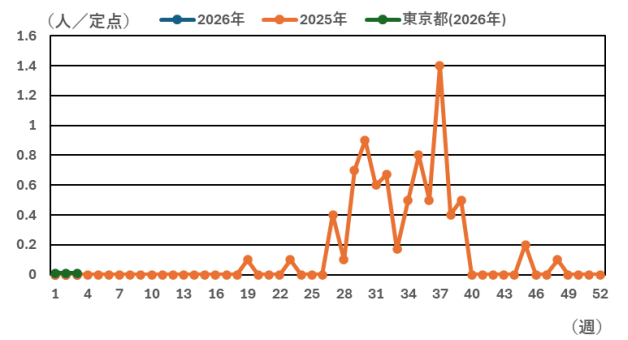
伝染性紅斑



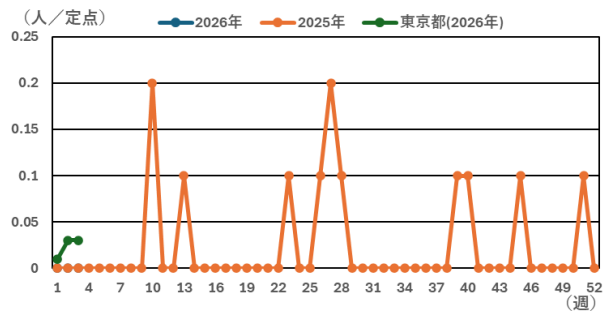
突発性発疹症



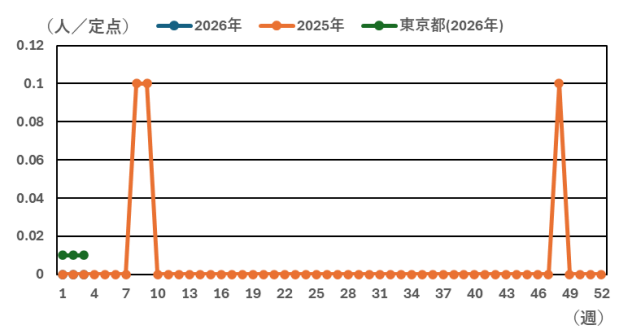
ヘルパンギーナ



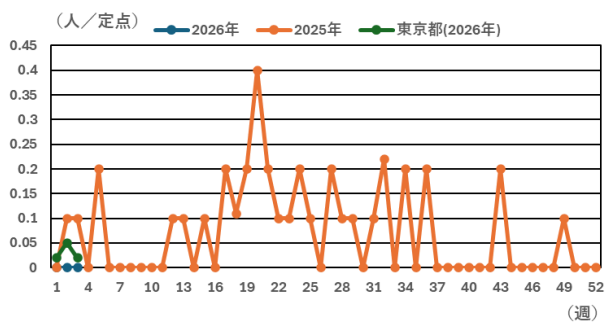
流行性耳下腺炎



川崎病



不明発しん症



【感染症集団発生状況(新規)】

新型コロナウイルス感染症	1 件	高齢者施設 1 件
インフルエンザ	2 件	保育施設 1 件・高齢者施設 1 件
感染性胃腸炎	1 件	保育施設 1 件

※令和 8 年 1 月 23 日現在の情報により作成しています。

※全数把握疾患は発生届を受理した件数です。発生届は、診断した医師が最寄りの保健所（医療機関の管轄保健所）に届け出ることであります。よって、届出数は区内患者数と一致しないことがあります。

※定点あたり報告数とは、1 週間に一つの定点（医療機関）あたり何人の患者の報告があったかを表す数値です。報告数の合計÷定点観測所数＝定点あたり報告数(人/定点)です。流行状況の把握、比較をする場合に有効です。板橋区内では、小児科定点 10 か所、内科定点 6 か所、眼科定点 2 か所、性感染症定点 2 か所、基幹定点 1 か所、疑似症単独定点 2 か所が指定届出機関（定点医療機関）として指定されています。

※令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の 5 類感染症に移行しました。同日以降は本報でも定点把握疾患として掲載しています。

※令和 7 年第 15 週から定点把握対象疾患に急性呼吸器感染症（ARI）が追加されました。

板橋区保健所 予防対策課 感染症対策係